

京都精華大学 教育後援会 2020年度 第2回役員会 議事録

開催日時：2020年11月21日（土）11時～12時

開催場所：京都精華大学 本館 4F 会議室

出席役員：

（副会長）小村 哲也、（会計）田中 永美、（監事）小脇 紀子、（監事）服部 今日子

本学参加者：

（学長・教育後援会顧問）ウスビ・サコ、（副学長）吉村 和真、（副学長）吉岡 恵美子、（芸術学部長）佐藤 光儀、（デザイン学部長）森原 規行、（マンガ学部長）姜 竣、（人文学部長）岩本 真一、（教務部長）斎藤 光、（学生部長）申 昌浩、（教学グループ長）大羽 勇憲、（学生グループ長）出口 尚宏、（経営企画グループ長）舟津 潤、（経営企画グループリーダー）矢澤 愛

記録：（経営企画グループ員）稗島 武

報告事項

1. 新型コロナウイルス感染症に対する学内対応状況報告
2. 2020年度教育懇談会開催報告
3. 2020年度寄付事業について

議事事項

1. 教育後援会会則改定及び教育後援会役員交通費取扱細則
2. 2021年度総会及び教育懇談会の開催方針
3. 2021年度寄付事業について（案）
4. その他

今回の決定事項

- ・教育後援会役員交通費取扱細則の見直しが承認された。
- ・2021年度の総会および教育懇談会について、本年と同じ形式で、全保護者を対象とした事前アンケートによる議案の設定と、その結果に基づく役員会の実施という開催形式が承認された。役員会の様子は、オンライン配信される予定。教育懇談会は、本学での対面面談と、オンライン面談を組み合わせで実施することが承認された。
- ・2021年度寄付事業（案）について、①奨学金の充実、②キャリア支援活動への賛助、③情報館資料の充実、④学内環境の整備支援、⑤食環境の充実、⑥課外活動の充実、⑦卒業展示会活動への賛助、⑧入学記念品または卒業記念品からなる8事業案を、第3回役員会に提案することが承認された。

議事に先立ち

□学長挨拶

本学学長のウスビ・サコより、日頃からの本学の教育・研究活動に対するご理解・ご協力に対する謝辞と、新型コロナウイルス感染症の蔓延下での本学の現状に関する説明と、今後のより一層のご支援のお願いを含めた挨拶があった。

□役職者挨拶

山協会長が不在のため、会則第 5 条にもとづいて会長の代理となる副会長の小村様、会計の田中様、監事の小脇様・服部様より、ご挨拶があった。

□本学参加者の紹介

事務局から、本学参加者の紹介があった。

報告事項および議事事項

以降は、会長代理である小村副会長の司会進行により、進められた。

報告事項

1. 新型コロナウイルス感染症に対する学内対応状況報告

事務局から、今年度春以降の新型コロナウイルス感染症に関する対応として、学生への経済的支援、就職等のキャリアサポート等について、資料とともに報告があった。

2. 2020 年度教育懇談会開催報告

事務局から、2020 年 9 月 19 日に実施した教育懇談会(地域会場をオンラインに変更して実施)について報告があった。

3. 2020 年度寄付事業について

事務局から、2020 年 6 月の教育後援会総会にて内容が承認された寄付について、現時点の進捗報告があった。最終的な詳細については、事業報告時におこなわれる旨の報告があった。

議事事項

1. 教育後援会会則改定及び教育後援会役員交通費取扱細則

事務局から、教育後援会役員交通費取扱細則案が提案された。次年度からの後援会費の徴収対象に留学生の保護者が含まれることに伴い、海外から保護者が役員会に参加される可能性も出てきたことから、これまでなかった交通費の取扱細則を設定する。1 回の支給限度額を 6 万円とし、領収書の提示による実費支給を原則とする。宿泊費の上限額は 1 万 2 千円とし、最寄り駅を午前 7 時前に出発しなければ間に合わない場合に対象となる。

事務局からの説明後、会場からの質問等なく、承認された。

2. 2021 年度総会及び教育懇談会の開催方針

事務局から、来年度の教育後援会総会及び教育懇談会のスケジュール、内容等が説明された。本年と同じく、6月に総会、9月と11月に教育懇談会を開催することを予定している。6月の総会時には、本年と同様に、全保護者を対象とした事前オンラインアンケートで議案に対し広く意見を集める予定である。また、総会は、オンライン配信を予定している。教育懇談会については、対面面談とオンライン面談を組み合わせて実施する予定としている、との説明があった。

役員から、オンライン配信について、どのようなスタイルでの配信になるのか、との質問があった。これに対し事務局から、総会開催の様子をリアルタイム配信する予定であるとの説明があった。

その後、本議案は承認された。

3. 2021 年度寄付事業について（案）

事務局から、第3回役員会に提案する2021年度の寄付事業項目案について説明があった。①奨学金の充実、②キャリア支援活動への賛助、③情報館資料の充実、④学内環境の整備支援、⑤食環境の充実、⑥課外活動の充実、⑦卒業展示会活動への賛助、⑧入学記念品または卒業記念品の8事業案が説明された。

役職役員から、総予算をどれくらいと考えればよいのかとの質問があった。事務局から、例年2000万円程度となっている旨の説明があった。

役員から、「食環境の充実」について、新しい食堂メニューは現在の食堂の運営者が検討するのか学外の方と別途検討するのか。出来たメニューを実際に調理・販売するのはどこか、との質問があった。事務局から、現状の食堂ではなく学外の方とメニュー検討をおこない、ケータリングなどでの販売を想定している、との説明があった。

役員から、「食環境の充実」について、現状の食堂の運営にどのような問題があるのか教えてほしいとの質問があった。事務局から、現在は新型コロナウイルス感染症の影響で通学者が減少し、その影響からメニューを限定して提供されている。食肉表示などのダイバーシティ対応は行っているが、新しいメニューの開発が課題となっており、新しい試みとしての提案である、との説明があった。

役職役員から、「学内環境の整備支援」について、学生からの設備への要望を吸い上げて、学内環境の整備支援につなげていくような仕組みができると良いと思う、との意見があった。

以上、本日出た意見をふまえて調整した寄付事業案の計画・予算案について、第3回役員会等で最終案を審議することが承認された。

小村副会長から、議事の終了が宣告された。

4. その他

事務局から、事務局が運営するホームページやセイカポータルによる情報発信について意見があればうかがいたい、との提案があった。

役員から、パソコンやスマホを持たない方もいるが文書等で情報発信することは可能か、との質問があった。事務局から、セイカポータルで発信すると共に文書を郵送するケースは現状でもある。一般的な情報についてはセイカポータルでの発信となるが、文書での発信についてケースバイケースで検討したい、との回答があった。

役員から、セイカポータルでは、就職情報やキャリア支援内容等の情報が掲載されているのか。そうした情報を保護者も閲覧できるようにしてほしい、との意見があった。出口学生グループ長から、キャリア支援については自立の支援という方針のもと学生に向けて発信しており、保護者の方にすべてを発信することは難しいが検討したいとの回答があった。

役員から、来年2月に実施される卒業展示会の開催方法・内容について、卒業式の開催方法、卒業後のキャリア支援について、質問があった。吉岡副学長から、卒業展示会について、今年度は感染症の予防対策を徹底し実施予定であり、オンラインでの事前予約制で、予約された時間に入場いただくような形としたい。動線や消毒についてもガイドラインを作成する予定とし、セイカポータルや特設ホームページなどで情報発信するとの説明があった。サコ学長から、卒業式は体育館で学生のみ参加とし、直接対面形式で開催予定である。保護者の方に向けてライブ配信をし、本学内のアゴラホールや自宅で視聴できるよう準備する予定である旨の説明があった。くわえて、サコ学長から、今後のデジタル化の積極的な推進という社会の動きが加速することが予測されることから、大学としても保護者のみなさんと意見交換しながら進めていきたい。また食環境の充実について、学生の参加や新しい開発パートナーとの力を借りて、新たなメニューの開発などを積極的に進めていきたいと考えているとの補足があった。出口学生グループ長から、卒業後のキャリア支援について個別で対応しているが、支援の中心は3～4年生を対象としたものとなっている。キャリアに関する個別面談はオンラインでも利用可能となっているので、できるだけ早めに相談してほしいとの説明があった。

役員から、会社に入るだけでなく、個人で働くフリーランスの働き方についても支援があるのかとの追加の質問があった。出口学生グループ長から、年に数回、フリーランスの方を招いて講演などを実施しているとの説明があった。

最後に、新任役員の紹介を行い、閉会した。

以上